

沿 革

昭和 24 年	12 月	岡山大学医学部において学部内の研究を円滑にし、その能率の向上を期するため、学部の共同利用施設として電子顕微鏡室が発足
昭和 25 年	2 月	共同利用の最初の機器として、日立製作所製 HU-6 型電子顕微鏡が設置された
昭和 29 年	6 月	上記を発展・充実させ、研究分野全般にわたる共同利用施設として中央研究室が設置され、生化学教室 1 階を本室とし電子顕微鏡分室及びアイソトープ分室が置かれた
昭和 29 年	7 月	中央研究室運営委員会規程を制定
昭和 38 年	4 月	共同実験室と改称し次の 3 分室が置かれ、それぞれ下記の研究室分野を受け持つこととなる 第 1 分室：電子顕微鏡的研究 第 2 分室：物理化学的分析・測定及びサンプリング アイソトープ分室：各種の同位元素を用いた研究
昭和 39 年	4 月	第 1 及び第 2 分室は新築された医学部基礎医学棟へ移転
昭和 40 年	4 月	岡山大学医学部共同実験室運営規程を制定
昭和 47 年	4 月	共同実験室からアイソトープ分室を分離
平成元年	4 月	大学院最先端機器として遺伝子工学関連機器が導入され、第 3 分室が設置された
平成 18 年	4 月	学外者利用の実施
平成 22 年	11 月	組織標本作製サービスの開始
平成 27 年	6 月	融合棟へ移転（受付、核酸、タンパク、質量分析、細胞関連機器、光学顕微鏡、遠心機、光度計など）
平成 29 年	6 月	第 4 分室設置
平成 29 年 以降	(予定)	旧 RI 研究センター棟へ移転（電子顕微鏡、フォトセンター、組織標本室、低温実験室等）